

“教育のゲーミフィケーション”を具現化！クラウド型学習システム「すらら」

第9回「すららカップ」1月1日より開催

～学習習慣が定着し、「すららカップ」期間前後で平均学習時間が約1.5倍に～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）では、クラウド型学習システム「すらら」の利用者が努力量を競う大会「すららカップ」を2015年1月1日（木）より2月28日（土）まで開催いたします。

今回で9回目を迎える「すららカップ」は、偏差値や点数ではなく「総学習時間」や「総学習量」といった、“どれだけ努力したか”の努力指標で、学年やエリアを問わず、全ての「すらら」利用者同士が競い合う大会です。「すらら」利用者達が、「努力指標」と「努力の結果である成績向上」を意識することで「やればできる」というマインドセットを醸成することを目的としております。

実際、これまでの「すららカップ」において、学習習慣の定着に効果が見られています。たとえば、前回の「すららカップ」で「チャレンジW30賞（※）」を受賞した生徒は、「すららカップ」期間の前後で、学習時間が約1.5倍になるという、大きな伸びが見られました。

加えて、特にチーム対抗部門に参加した学校・塾の伸びは顕著で、期間中の平均学習時間が期間外のと比べて72%増加しました。

また、2014年は、新たに中国・上海、マレーシア・ペナン島に「すらら」導入校が開校し、日本人の在住人口が少なく、日本の学習塾が進出しづらいペナン島のような地域でも、「すらら」を利用することで教務サービスの提供を実現し、今回の「すららカップ」は過去最大の規模となっています。

今後も、教育に携わる企業として、利用者様の学習をサポートできるよう、教材・企画の開発に力を注いでいきたい、と考えております。

（※）すららカップ期間中の2ヶ月間、毎月30時間以上「すらら」で学習した者を表彰する賞

【すららカップ概要】

- ◆実施期間：2015年1月1日（木）～2月28日（土）
- ◆対象学年：問わず
- ◆科目：英語・数学・国語
- ◆範囲：小5～高3の履修範囲
- ◆開催部門：個人部門（全国と各地方ブロック）、チーム対抗部門、
新人部門（2014年9月以降にすららを利用開始したユーザーを対象）
チャレンジW30部門（1月、2月の学習がどちらも30時間を超えたユーザーを対象）
- ◆審査基準：総学習時間・クリアユニット数（個人部門）、平均学習時間（チーム対抗部門）
- ◆賞品：（全国個人部門）1位：iPad mini、2位：Swatch 3位：ソニー WALKMAN
※その他部門でも商品を用意しています。
- ◆最終結果発表：2015年3月予定

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【利用者数】 約28,000名（2014年5月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーションの要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：11,325万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>